



三条北ロータリークラブ週報

ロータリーを高めよ、 思いを尽くし、熱意を尽くし!!

国際ロータリー会長 パウロ V. C. コスタ 第256地区ガバナー 原 猛

例会日

1991. 3 . 26

累計 No 212

当年 No 36

会長／今井克義

幹事／本間茂男

SAA／堀川正幸

例会日／火曜日 PM12:30～1:30

例会場／三条ロイヤルホテル ☎34-8111

事務局／三条市西四日町3-15-34
ヒューマン・ハーバー内 ☎35-7160

行事： ビデオ鑑賞「越後三条良寛のみち」企画 (株)内田製作所 監修 故玉木 哲殿
解説 梨本 清一君

出席： 本日の出席 51名中38名
先週の出席率 51名中46名 90.20%

先週のメークアップ： 3月20日 三条RCへ 本間建雄美君 山下 厚君

22日 地区ライラ委員会へ 梨本清一君

26日 三条南RCへ 中條耕二君 山下 厚君 外山晴一君

ビジター： 三条RCより 五十嵐昭一君 上木六治君 内山辰策君 山本福七君
渋谷健一君 堀川政雄君

会長挨拶： 今井克義

先週の武藤先生の「廃用症候群」についての卓話、いかがでしたか。“使わなければ駄目になる” “楽をすると体が鈍る” という話、大変参考になりました。“若いうちは生活のために体を動かせ、年をとったら健康のために体を動かせ” 我が北RCでも積極的にこの考え方をとり入れて、親睦委員会のメンバーは50才以上に限るとでもしたらどんなものでしょうか。健康シリーズの卓話、これで3回終わりました。今まではそれぞれ歯科医師や、医師の方の話でした。皆様方の中には「健康」ならば俺も一家言あるぞという人、あるいは自分は日頃こんな健康法を実施しているという方もおいででしょう。今度はぜひそんな話を聞きたいものです。私は最初健康シリーズの卓話の内容を決める時、皆様方に日頃健康についてこんなことがよくわからない。あるいは、こんなことで困っているというようなことをアンケートをして参考にしようかとも考えました。ただ、アンケートの結果一番若い目黒さんなどは“夜になると鼻血が出て困るんです” 中條さん、梨本さんくらいになると“夜になると鼻水がでて困るんだけど” と、年令によって差がでると思いやめました。さて、今日は「越後三条良寛のみち」ということでビデオ卓話です。私は“良寛さま” についてほとんど知識がありません。小さい頃読んだマンガで、良寛さまが自分の住んでいた庵の縁の下

後世に伝えなければならないという使命を負った男でもあったわけです。先程もこのビデオに出て参りましたが、玉木礼吉という人が写し出されましたが、それが彼のおじいさんに当たる方でありまして、その方の子供さんがバレーに熱心な方でありまして良寛に関しては全くと言っていいほど関心のない人で、玉木先生はその礼吉さんの丁度孫になられるわけでございます。それで今年の5月12日、全国良寛会が三条であるのですが、そんな事をきっかけにして広く三条の皆様に良寛の事をより深く知って頂きたいという願いがありまして、これを作ったわけでございます。このビデオを作ったのが松岡プロダクション、教育映画専門に作っているとの事ですが、前にこのプロダクションで良寛の映画を作ったのですが、その時のナレーターは宇野重吉がやっているのですが、玉木先生は是非、映画を作りたいという願いがあったのですが、市の方に、そう彼は歴史民俗資料館の仕事をしておったわけですが、市民のためにという事で市の方へ行ったようですが、ついに協力を得る事ができず、自分の教え子の内田製作所の社長、内田力さんのところへ協力を依頼に行くのですが、ご自分の教え子にはずいぶん迷惑をかけたのではないかと思います。外山さんも教え子の一人としてずいぶん迷惑をかけたのではないかと思います。改めてお詫び申し上げます。結局、教え子のところへ行って300万円を出して頂き、このビデオが出来たのですが、このビデオのトップシーンに内田さんがスポンサーとして出てくるものと思っていたのですが、企画として出てくるのです。スポンサーとして出てくるのではないのです。正月の二日に二人で酒を飲みながら、なぜスポンサーとして出てこないんだと言っていたのですが、やっぱり企画という事だそうです。内田さんの協力でこのビデオができたという次第なのです。来週は高井さんがおいでになって経済の話をするのだそうですが、このビデオに出て来た絵は高井さんの絵なのです。書は荻根沢さんの書です。この書についてもう少し多く出しておけば良かったね、など二人にとっては想い出話が沢山あるのですが、ナレーターとなるアナウンサーなのですが、三人のアナウンサーの中から東京で選んだのですが、お金がないので宇野重吉さんのような人を選ぶわけには行かないので…。それでも与板のことを「ヨイタの良寛は」などの事を彼は「与板」というように直させたり、そんなこんな色々なエピソードがあるのですが。それでは最後に一言紹介したのですが、玉木が死んでからふいにパストガバナーの藤田さんから「ナシモちょっと来い。おりいって相談したい事がある」と言われまして、なんだろうと思ひまして行ったところ、お前の兄はこんなことを残して死んでしまい、その責任をお前がとれと言われ、あとの責任は5月12日に全国大会がある。約1,000名規模で地場産センターで行われる一人で玉木先生がやっていたので、皆手も足も出ないという事で手伝えと言われましたが、私は良寛については全く関係ない、ロータリーの事なら出来る限りお手伝い出来るがそれだけは勘弁してくれと言ったのだが、相手は私より人を説得することが数段上手なので、うまいこと丸め込まれ、これも前世からの宿命という事で有難くお受けしなさいと言われ、そんなことで受けるハメになったのですが、そのお陰で良寛のことは少しは勉強することになり、それもインネンかなと思ひ、このインネンを皆さんにあやかってもらいたいと思ひ、今日はお話をしてみました。

4月2日例会： 外部卓話「三条産業経済動向を読む」

三条信用金庫 情報開発センター長 高井 茂氏

4月9日例会： 100%出席例会

から竹の子がのびてきた。その竹の子の成長の妨げになるというので縁側の板を切ってあげたということ、あるいは村の子供達とかくれんぼをしていて、鬼になった“良寛さま”が日が暮れて帰った子供達に気づかずに両手で目かくしをしながらもういいよという声がかかるのを待っていたとか、その程度のことしか知りません。また、字の練習をする時紙がないので空に向かって手を動かして練習をしたというので、小学校時代習字の時間に先生から、だから君達は一枚の紙の上に何回も練習するようにと注意されたのを思い出します。我々はまず食べなければ生きられません。食べ物足りて、次に衣や住が足りて、その上で初めて美や教養を求める人が一般的です。「衣食足りて礼節を知る」です。良寛さまという人はその辺が我々凡人とは違ったということなのでしょう。ビデオ卓話楽しみにしています。

幹事報告： 本間茂男

◇橋本ガバナー・ノミニーより梨本清一君に役員委嘱の件

1991～92年度地区協議会・ロータリー財団セミナー・会長エレクト研修セミナーの役員

◇東京・田無けやきロータリークラブ認証状伝達式のご案内

日 時 5月13日（月）

会 場 センチュリーハイアット

◇三条南RC例会変更

日 時 4月22日（月）職場例会

会 場 (株)アークランドサカモト

ニコニコボックス：

山 本 賢 君

石月雅司君 ボックスの協力が足りないようなので、／

江 口 悟 君 ボックスに協力して。

阿部誠一郎君 ボックスに協力して。

河井増雄君 ボックスへ。

笹原勝治君 玉木先生には生前いろいろお世話になりました。改めてご冥福をお祈りします。

本間建雄美君 今日のビデオ卓話に感謝して。

早川滝雄君 良寛様に感謝して。

五十嵐英雄君

山 本 充 君 BOXに協力して。

佐藤啓策君 ボックスに協力して。

馬場直次郎君 息子がようやく10カ月を過ぎ、歯がはえ、立ち上がりました。毎日のように変化していくのにはただおどろきの連続です。

坂内康男君 楽しい昼食会BOXに。

今井克義君 BOXに協力。

鈴木英友君 BOXに協力して。

本間茂男君 選抜バンドコンサートの成功のために。

梨本清一君 本日はビデオ「越後三条良寛のみち」を皆様からご覧いただき御礼申し上げます。

味方義一君 ボックスに協力して。

芦田義重君 4月1日より有限会社アシダ都市設計と社名を変更致しますので、宜敷くお願い致します!!

外山晴一君 今日のビデオを監修された玉木哲先生は、私の高校の剣道部の先生でした。今日、この席で先生のご遺作のビデオを見せていただけるのは先生とのご縁を感じずにはおれません。先生のご冥福を祈ります。合掌。

上木六治君（三条RC）久しぶりにメークアップさせて頂きました。

米山忠俊君 長男が高校一年生、次男が中学三年生、三男が小学六年生になりました。

ロータリー財団：

山 崎 勲 君 長男がやっと中学に入学です。

山上茂夫君 甥が大学に入学します。しっかり勉強してもらいたいと願っています。

堀川正幸君 長女が高校入学しました。

河井増雄君 次男やっと高校が決まりました。

鈴木英友君 次女が無事高校に入る事が出来ました。

米山忠俊君 長男がやっと高校に行く年頃になりました。あと二人残っています。

外山晴一君 娘が高校に、息子が小学校にこの春入学します。

山 本 充 君 次女が小学校へ入学致します。

高橋彰雄君 チャーターナイトでお手伝いさせて頂いた次女がもう大学卒業、東京で就職しました。

山 本 賢 君 7～12才（3男1女）皆元気で進級、入学致しました。ありがとうございました。

卓 話： 「越後三条良寛の道」企画 (株)内田製作所、監修・玉木 哲、解説・梨本清一君

ただ今皆さんに真剣に見て頂き、また私も一緒になって見ておりました。本人は実に喜んでいるだろうなあとと思いながら、このビデオを見ておりましたが、つい彼の顔が真の当りに浮んで来たような気がしました。実はちょうど今頃、暖かくなったら北クラブへ来てもらい、良寛の話をしてもらうよと二人約束しておったわけですが…。そんなことも思い出しながら見ておった次第です。このビデオが出来上ったのが昨年の暮れでございまして、彼にとっては念願のビデオでございまして、私がこれを見せて頂いたのは1月2日でした。お正月でもあったので二人で仲よくコタツに入りお酒を飲みながら「ようやく出来たてゝー」というわけで二人で見た1月2日、これが実は彼との別れになるわけですが。今日、そのビデオの解説という事でございますが、こんな事でしたらあの日よく聞いておけばよかったと思うわけですが、「朝に紅顔、夕べに白骨」となる身という人の世の定め、しみじみと思い知ったわけですが。1月11日に私と妻とハワイに行く予定にしておったわけですが、そのハワイに行く朝、彼は急死するわけですがどうして彼はこれを作ったのであろうかということを考えますと、彼と普段の言葉の端々から想像しますならば、とにかく熱心な仏像の研究家でもありました。また熱心な良寛の研究家でもあり、